

P201a **すばる戦略枠プロジェクト SEEDS による Young Stellar Object における
惑星探査 2**

鵜山太智, 田村元秀 (東京大学), 橋本淳 (アストロバイオロジーセンター), 葛原昌幸 (東京工業大学), 工藤智幸 (国立天文台), SEEDS/YSO team, SCEXAO team

Subaru/HiCIAO と AO188 を用いて、系外惑星と星周円盤の探査を目的としたすばる戦略枠 SEEDS では、2009 年からの 5 年間で約 500 天体について直接撮像で観測を行った。その中で我々は、原始惑星系円盤の存在も報告されている 10Myr 以下の天体 (Young Stellar Object: YSO) を対象とした惑星探査を行い、形成中・形成直後の巨大ガス惑星を発見したい。前回の講演 (2015 年春季年会, P226a) では約 20 の YSO について惑星探査に適したデータ解析 LOCI を行い、主星から数十 AU 以遠に数木星質量以上の天体の可能性を排除した。本講演では SEEDS/YSO カテゴリの惑星探査に使用可能なほぼ全てのデータ (約 80 天体) の解析結果を報告する。

SEEDS 戦略枠による観測は 2015 年 1 月に終了したが、YSO カテゴリを含め個々の惑星探査は継続している。特に、すばる望遠鏡の新しい超補償光学系 SCEXAO を用いた観測が始まった。これによって YSO の惑星探査で期待される成果など、今後の展望についても紹介する。